

第46回大阪府環境審議会会議録（抜粋）

開催日 平成24年11月19日

開催場所 プリムローズ大阪 2階 「鳳凰（東）」

奥野会長 それでは、審議事項が終わりまして、あと報告事項が3件ございます。

総合計画の方と温泉法と鳥獣保護区の方ですが、温泉法と鳥獣保護区につきましては、いつもでございますが、部会の報告を受けて、それが本審議会の結論ということになりますので。

それでは報告を、まず、環境総合計画の進行管理について、これをどういふうにしましょうということで、榎村先生グループでいろいろ議論していただきましたことを報告お願いしたいと思います。

先生、よろしくお願ひいたします。

南部総務課長 先生、すいません。事務局から先に状況だけ説明させていただきます。申しわけございません。

榎村委員 じゃ、先にお願ひいたします。

奥野会長 失礼しました。私の方のミスです。事務局から。

南部総務課長 本日お配りしております資料の4-1に概要を取りまとめてございますが、かなり字が細こうございますので、正面のスクリーンでお示させていただきます。

まず、大気環境の状況でございますが、府内には105カ所の測定器がございまして、継続して測定したデータで見ますと、左側が二酸化窒素の濃度、右側が浮遊粒子状物質の濃度、ともに年平均値は右肩下がり、改善傾向にございます。環境保全目標は、高い濃度となった日の発生頻度で判断いたしますので、二酸化窒素は全測定局で目標を達成しております。また、浮遊粒子状物質は、5月に黄砂の影響で2日間連続基準値を超過したため、一部の局で未達成となっております。

次に、水質環境の状況でございます。河川水質、折れ線グラフの黒の部分でございますが、工場、事業場の排水処理対策や下水道の整備などによりまして、

おおむね改善傾向にございます。BODの環境保全目標達成率は2011年度で87.7%となっております。一方、海域の水質、これは赤でございますが、グラフで見ていただきますとおり横ばいの傾向でございまして、CODの目標達成率は66.7%となっております。

次に、騒音の状況でございます。道路沿道における環境保全目標の達成率は上昇傾向です。グラフがだんだん下に行くほど年度が直近になります。最下段のグラフが2010年度でございまして、昼、夜ともに基準値以下でありましたのが全戸数中91.8%となっております。

次に、化学物質の状況でございます。まず左のダイオキシン類でございますが、1999年にダイオキシン類対策の特別措置法が制定されて以降、構造基準に不適合な焼却炉を廃止するなどの対策が進みまして、府内の排出量は大幅に減少しております。また、右側のグラフ、人や生態系に有害性があり、PTR法の対象となっております化学物質の排出量の推移をお示ししておりますが、おおむね減少傾向にございます。

先ほどの新たなエネルギー社会づくり検討部会でも少しご議論ございましたけれども、地球温暖化の状況でございます。2010年度の温室効果ガスの排出量、グラフの一番右端の部分でございますが、5,081万トンとなっております。基準年が一番左端、1990年でございますが、比べますと12.1%減少しております。しかしながら、このうち二酸化炭素は、棒グラフの青の部分でございますが、1990年と比べまして3.2%の減少にとどまっております。

これも先ほどの部会の資料にもございましたが、ご案内のとおり、火力発電所の割合が高くなっております。このため、1キロワットアワーの電力を使用する際に、どれだけのCO₂を排出しているのかを示す値を電力の二酸化炭素排出係数と申しますが、これは増加しております。電力不足に対応するため、関西全体で節電の取り組みが進んでいる状況でもございますが、先ほどお示しました二酸化炭素についても、2011年度は増加する見込みでございます。

次に、府内における太陽光発電設備の導入状況ですが、2011年度末現在で約17万9,000キロワット分が導入されてございます。これは前年の2010年度と比較して25.2%の増加となっております。

続いて、ヒートアイランドの状況でございます。グラフでお示ししていますが、上側が大阪府の状況で、年平均気温も上昇傾向にございます。最近はこの年平均気温の上昇はやや鈍化をしておりますが、依然、全国と比べますと、かなり上回っている状況にございます。

また、年間の熱帯夜の日数、これも大阪は赤の分ですが、他の都市と比較しても多うございまして、特に、近年40日を超えるという状況が続いております。

次に、廃棄物の減量化・リサイクルの状況でございます。一般廃棄物の排出量の推移については、グラフ右端の2010年度の1人1日当たりのごみの排出量、リサイクル率ともに全国ワーストワンとなっております。その要因といたしましては、リサイクル可能な資源物が事業系のごみに混入していることなどが考えられます。なお、排出量そのものは、見ていただくとおり年々減少しております。左端の2005年度と比較しまして18%減。これは全国平均の14%減を上回るペースで減少しております。

最後になりますが、産業廃棄物の状況でございます。特に、見ていただくとわかりますが、グラフの青の部分、最終処分量の減少が顕著でございます。2010年度は47万トンとなっておりまして、2005年度と比較して約30%減少しております。

以上で、環境の状況についての説明を終わります。

これらの状況を踏まえまして、この後ご説明いただきます環境総合計画の点検評価結果についてご確認いただければと思います。どうぞよろしくお願いたします。

奥野会長 どうも失礼いたしました。

まず大阪府の環境のこういう変化をご報告して、それを踏まえてこの計画をどう管理していくかということ、榎村先生、すいません、よろしくお願いたします。

榎村委員 今、大阪の環境の状況ということでご報告ございましたけれども、大阪21世紀の新環境総合計画について、環境総合計画部会で点検評価を実施いたしましたので、榎村から報告させていただきたいと思っております。

資料4-2でございますけれども、参加いただいた石井委員、福岡委員、坂

東委員、大橋委員、逸見委員でございます。

ただいまご説明ありました資料４－１が平成２３年度の環境の状況及び講じた施策でございます。

次のページの資料４－２でございますが、点検評価の概要、資料４－３が点検評価結果、資料４－４が点検・評価項目でございます。

本日は２枚目の資料４－２の点検評価の概要を用いて説明させていただきます。大阪府は、平成２３年３月に大阪２１世紀の新環境総合計画を策定いたしました。この計画では、毎年度のＰＤＣＡサイクルと複数年（３年から４年）ごとのＰＤＣＡサイクルで進行管理を行うこととしております。

進行管理の進め方につきましては、昨年度に、環境総合計画部会において集中的に審議を行った結果である新環境総合計画の効果的な推進と進行管理のあり方についての環境審議会答申に基づきまして、進行管理をするということとしております。

進行管理の方法は、毎年度サイクルとして、大阪府において毎年度作成する「講じた施策」に取りまとめられる施策・事業の進捗状況等をもとにした全分野の進行管理を施策・事業ごとに設定した「取組指標」（アウトプット）の進捗を中心に点検評価を行うこととしています。加えまして、環境総合計画の柱であります「低炭素」、「循環」、「生物多様性」、「健康」に「快適」を加えました５つの分野から、毎年度、１つまたは２つの分野を選定いたしまして、重点的に点検評価する分野を設定いたしまして、その分野について、より詳細な点検評価を実施することとしております。

複数年ごとのサイクルは、２０２０年の目標（アウトカム）を中心に、計画に掲げた施策の方向や主要施策の実施効果の点検評価をすることとしております。また、点検評価結果に基づき、必要に応じて計画を柔軟に見直しすることができるようにしております。

進行管理における本部会の役割は、府議会や府民代表による点検評価に加えて、専門的な視点から点検評価を行うこととしています。

お手元に資料４－４というのがございます。表になったものでございます。資料４－４の環境総合計画の点検・評価項目をごらんください。環境総合計画部会における点検・評価項目を表に整理したものでございます。

今回は初めてございますので、毎年度サイクルの点検評価になりますので、取組指標の達成状況と、一番下のところにありますが、新規施策・事業の提案、施策・事業の改善方策の提案について議論をいたしました。

申しわけございませんが、また資料4-2の方にお戻りいただきたいと思えます。

左下の環境総合計画部会における点検評価をごらんください。平成24年8月16日に部会を開催いたしまして、「平成23年度における環境の状況及び講じた施策」をもとにした全分野の施策・事業の点検評価と、低炭素・省エネルギー社会の構築と資源循環型社会の構築の2つの分野を対象にした重点的な点検評価を行いました。

右側をごらんください。点検評価の総括というところでございます。全般的な事項でございますが、部会では、今回初めての点検評価でございます。点検評価の方法につきましては、実際に点検評価を行いながら必要な改善を行っていくことを申し合わせました。また、部会での点検評価は、単に事業の効率性という観点からではなく、計画の目標達成に個別の施策がどれだけ寄与しているのかという視点を重視して点検評価をすることといたしました。

今回、初めての部会での点検評価でもありまして、施策・事業の内容以外にも、府で自己点検する際に課題や改善方策を明示することなどの点検評価方法に関する意見が多く出され、次回以降、改善していくことといたしました。

全分野の個別施策事業につきましては、「講じた施策」をもとにした点検評価を実施いたしました。全般的に施策・事業は想定どおりの自己点検評価結果となっております。おおむね順調に進んでいることが認められました。

施策・事業に関する主な意見に対しましては、例えば、大阪湾の水質改善と豊かさ（漁獲量の確保）の関係につきましては、水質（栄養塩）と漁獲量の関係の研究成果を踏まえて引き続き検討する。あるいは、ヒートアイランド対策につきましては、引き続き、温暖化防止条例による大規模事業者の取り組み促進や中小事業者の省エネ支援等によりまして、人工排熱の削減対策を推進するという府の回答が得られました。今後は、あらかじめ抽出した個別の施策・事業をより詳細に点検評価することといたしました。

重点分野につきましては、低炭素・省エネルギー社会の構築と資源循環型社

会の構築の2つの分野について、本年3月に策定した地球温暖化対策実行計画と循環型社会推進計画の取り組みを中心に、府の説明を聴取いたしました。低炭素の分野では、森林整備によるCO₂吸収が量的に期待できないのであれば、重点施策としての位置づけは再評価すべきとの意見がございました。また、資源循環の分野では、一般廃棄物の減量化に関する目標の達成に向けた取り組みにおいて、府と市町村の役割を一層明確にしながら進める必要があるとの意見がございました。

その他、たくさん部会で意見がございましたので、今日は時間がありませんが、資料の4-3をごらんいただきたいと思います。この資料4-3では、たくさんさんの指摘事項に対しまして、府のご回答いただいたものが細かく記載されておりますので、また後ほどごらんいただければと思います。

また、資料4-2にお戻りいただきまして、右の一番下の今後の対応というところをごらんください。

今回の部会における議論の結果を踏まえまして、次回の部会におきましては、点検評価の方法を改善していくことといたしております。また、重点分野の点検評価方法は、事務局において検討するということとなりました。今回の点検評価では、点検評価方法に関するもの、全分野に関するもの、重点分野に関するもの等々、初めてでございましたので大変多くの意見が出されましたけれども、この点検評価結果は、府において次年度以降に反映させていただくようお願いしたいと思います。

このような形で、環境総合計画部会で、大阪21世紀の新環境総合計画の点検評価結果をまとめました。

私の方からの報告は以上でございます。

奥野会長 ありがとうございます。

この総合計画に関しまして、その管理をどうしていくかということで、先生チームに、この部会にお願いしたところでございますが、今の報告に関しまして、ご質問あるいはコメント、何かお気づきの点があればどうぞお願いしたいと思います。

水野会長代理 点検評価のやり方につきましては大変結構かと思いますが、個別の項目で、点検評価の総括という4-2の右側の中に、ヒートアイランド対

策についてというのがございますが、人工排熱の削減対策を推進すると書いてあるんですが、これはいろいろな意見がもちろんあるんですが、ヒートアイランドを引き起こしているのは、人工排熱よりもむしろ地表面とか建物の表面から昼間に蓄えられた太陽熱が出てくるというのが主原因だと私は思っていて、大阪府もそのように実は指導というか、助言しているんですが、人工排熱だけ促進すると書かれるとちょっと違うんじゃないかと思っていますので、その点、専門的立場からコメントさせていただきます。

榎村委員 ありがとうございます。ここに書かれている文言は概要をまとめたものだけでございますので、詳細にはいろいろ検討しておりますので、本文の方にはきちっと書かせていただいておりますが、ご容赦いただきたいと思っております。ありがとうございます。

奥野会長 ほかに何かございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。こういう形で、きっちりP D C Aをここにも使おうというこの試みはいいと思います。ただ、やり方をうまくやらないと、ここを設定したから何とかという細かいことまでやるとなかなかそういうところまでいけないので、環境のこういう計画に対してうまくいく方法というか、それをぜひ、検討すると書いていらっしゃるの、そういうふうをお願いしたいと思いますし、府の方にも何か二重にこういうふうにすることはすごくいいことだと思うので、ぜひ工夫していただきたいと思っております。

これについてはよろしいでしょうか。報告だから、ありがとうございますでいいのかな。

これを踏まえて府の方でよろしくお願ひしますと、私から発言すればいいんですね。榎村先生をはじめ、委員の皆様へ感謝申し上げます。